

26日機輸通投第19号

平成26年4月18日

組合員各位

日本機械輸出組合

専務理事 倉持 治彦

## 「サブサハラ諸国の市場環境と日本企業の事業機会」に関する セミナーのご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当組合では、平成25年度に「サブサハラ諸国の市場環境と日本企業の事業機会」について調査を実施しました。今般、当該調査結果に関するセミナーを開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

アフリカの人口は現在10億人を突破し、2030年には15.6億人、2050年には21.9億人に達すると予想されており、消費や生産を牽引する中間層人口・若年層人口の増加が続いています。また、今後もアフリカのGDP成長率は世界平均を上回る水準で推移するとの見通しから、日系企業にとってアフリカ市場の魅力が高まっています。他方、政情不安や武装勢力によるテロなどリスクへの対応や日系企業に先行してアフリカ市場への進出・事業拡大を進めている海外グローバル企業の動向等を勘案しながら、日系企業としてアフリカ市場への参入戦略を構築する必要があります。

この度の調査では、今後の市場拡大の可能性がある国として、ガーナ、ケニア、タンザニア、ナイジェリアを取り上げました。このうち、ガーナ、ケニア、タンザニアについては、ショッピング・モール等の商業施設、現地日系企業、投資誘致機関等へのヒアリングや投資・事業環境、インフラ整備状況、消費市場・生産拠点としてのポテンシャル、流通チャネルの状況等について現地調査を実施し、日系企業のサブサハラ市場への参入戦略について考察しました。

これらサブサハラ市場の調査結果について、現地調査を含め調査全体を総括しました(株)野村総合研究所 コンサルティング事業本部 公共経営コンサルティング部の霜越直哉氏、今井絢氏より、報告いただきます。

組合員各位におかれては、ぜひこの機会をご利用いただき、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 【※補】

当組合のホームページに、『サブサハラ諸国の市場環境と日本企業の事業機会』の調査報告書を掲載しておりますので、ぜひご利用下さい。下記、「エマージング市場関連情報」コーナーの最下部「報告書・研究論文」に掲出しています。

<http://www.jmcti.org/trade/bull/emerging.htm>

敬具

## 記

◆日 時 : 平成26年 5月14日(水) 14:00~16:00 (開場13:30)

◆場 所 : 機械振興会館6階 会議室6D-1・6D-2 (定員80名)  
(東京都港区芝公園3-5-8)

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

◆テーマおよび講演内容(予定)

「サブサハラ諸国の市場環境と日本企業の事業機会」

1. サブサハラ・アフリカの社会・経済
2. サブサハラ・アフリカの有望国
3. 事業機会とリスク
4. 有望国の産業構造・投資環境・市場動向
5. 海外グローバル企業・日系企業の動向
6. 日系企業の参入戦略

◆講 師 : (株)野村総合研究所

コンサルティング事業本部 公共経営コンサルティング部  
主任コンサルタント 霜越 直哉(しもこし なおや)氏  
コンサルタント 今井 絢氏(いまい あや)氏

◆参加費 : 無料(組合員限定)

※受講券の発行はございません。

※セミナー当日は、受付にお名刺をお渡し下さるようお願いいたします。

◆お申込み方法

セミナー参加ご希望の方は、5月12日(月)までに、当組合ホームページからお申込みください。定員となり次第、締切りを繰り上げる場合がございます。

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm#Sub-Saharan>

◆キャンセル方法

5月12日(月)までに、下記事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先

日本機械輸出組合 通商・投資グループ 庫元(くらもと)、長岡

TEL: 03-3431-9348 FAX: 03-3436-6455 <mailto:tohshi@jmcti.or.jp>

以上